

SOS ニュース

「ペッパー」1分で完売

～ソフトバンク 一般向けの1000台～

ソフトバンクが自社開発して20日に一般向けに発売したヒト型ロボット「ペッパー」がわずか1分で初回販売分の1千台を完売した。同社は電子機器の受託製造サービス世界最大手、台湾の企業などとの共同出資会社を通じて量産体制の確立を急ぐ。20日午前10時からインターネット上の専用サイトで受け付けた所1分で完売した。次回の販売は7月以降になる。ペッパーはヒトの感情を理解したり、ヒトやニュースなどに接して自ら感情を表現したりできるロボットで、スマートフォンのようにアプリ（応用ソフト）を追加で取得する事で用途や楽しみが広がる。本体価格19万8千円。当初3年間はネット通信料などに毎月1万4,800円、保険料を月9800円それぞれ払う必要がある。

……ソフトバンクの孫正義氏とロボットがごく自然に話をしている映像が各家庭のテレビニュースに映し出された。最初に出たロボットからそう時間の経過も経ず、人間の話し相手になり、自分も感情を発露することを学習する。まさに子供の頃に夢だった鉄腕アトムの世界が広がる。ロボットへのカウンセリングは人間がするのか、ロボット同士がするのか、又人間に対してはどうなのか。心に踏み入ろうとするロボット、スピルバーグの名作「A・I」が頭をよぎる。心の問題は難しい、人類がこの世界から消えた1千年後にロボットがマリア像に、母に合わせて欲しいと祈るラストシーン。美しい心をつないでいくのも人間自身である……。